

# 尿検査

参考基準値	解	説																				
蛋白：(-) 糖：(-) 潜血：(-) 比重：*		<p>腎臓で作られる尿には、正常の身体活動で生じた老廃物や塩類が含まれています。しかし腎臓や尿路の病気、糖尿病や高血圧などの全身病でも、健康なら尿にほとんど含まれないような物質が増えることがあります。だから尿に含まれる成分の量を調べることによって、腎臓の働き具合や全身の健康状態を或る程度判断することができます。比較的簡単に短時間でできる尿検査は、健診でも診療でも、最も大切な基本的検査といえます。</p> <p>まだ自覚症状が出る前に尿検査で病気が見つかることも多いので、「要再検査」や「要精密検査」という通知を受けた場合は、必ず医師にご相談ください。</p> <p>KKCでは尿検査として、下表のように蛋白、糖、潜血、比重を検査しています。</p> <p>(現在、ウロビリノーゲン検査は、血液検査での肝機能の判定が可能になったので、その意義が減少しました。そのため、KKCでもドック項目から除いています。)</p> <table border="1" data-bbox="389 1256 1449 1877"> <thead> <tr> <th></th> <th>検査の目的</th> <th>疑われる病気</th> <th>病気ではないが異常が出る状態(体質)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蛋白</td> <td>腎臓障害 / 尿路感染などの有無</td> <td>腎炎、ネフローゼ、尿路感染症、結石、腫瘍など</td> <td>体位性蛋白尿、熱性蛋白尿など</td> </tr> <tr> <td>糖</td> <td>糖尿病のスクリーニング</td> <td>糖尿病</td> <td>胃切除後高血糖腎性糖尿など</td> </tr> <tr> <td>潜血</td> <td>血尿の有無</td> <td>腎炎、高血圧、結石、腎腫瘍、膀胱がん、膀胱炎など</td> <td>特発性腎出血</td> </tr> <tr> <td>比重</td> <td>尿の濃縮、希釈力の評価</td> <td>高値：糖尿病、ネフローゼなど 低値：慢性腎不全など (注)薬品による影響</td> <td>高値：多汗時の脱水状態など 低値：水分多量摂取</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 比重の基準値は概ね1.015～1.025くらいですが、この値は採尿時の身体の状態によってかなり変動しますので、あえて表示はしていません。ただし、1.010以下、或いは1.030以上であれば念のため再検査をお勧めします。</p>		検査の目的	疑われる病気	病気ではないが異常が出る状態(体質)	蛋白	腎臓障害 / 尿路感染などの有無	腎炎、ネフローゼ、尿路感染症、結石、腫瘍など	体位性蛋白尿、熱性蛋白尿など	糖	糖尿病のスクリーニング	糖尿病	胃切除後高血糖腎性糖尿など	潜血	血尿の有無	腎炎、高血圧、結石、腎腫瘍、膀胱がん、膀胱炎など	特発性腎出血	比重	尿の濃縮、希釈力の評価	高値：糖尿病、ネフローゼなど 低値：慢性腎不全など (注)薬品による影響	高値：多汗時の脱水状態など 低値：水分多量摂取
			検査の目的	疑われる病気	病気ではないが異常が出る状態(体質)																	
蛋白	腎臓障害 / 尿路感染などの有無	腎炎、ネフローゼ、尿路感染症、結石、腫瘍など	体位性蛋白尿、熱性蛋白尿など																			
糖	糖尿病のスクリーニング	糖尿病	胃切除後高血糖腎性糖尿など																			
潜血	血尿の有無	腎炎、高血圧、結石、腎腫瘍、膀胱がん、膀胱炎など	特発性腎出血																			
比重	尿の濃縮、希釈力の評価	高値：糖尿病、ネフローゼなど 低値：慢性腎不全など (注)薬品による影響	高値：多汗時の脱水状態など 低値：水分多量摂取																			